

活動目的

入院児における課題

入院中はかかわる人も制限され、医療スタッフや両親に囲まれて同世代の関わりは減少する。そのため、社会の中で孤立感やつながりの希薄を感じやすい

プロジェクトの目標

入院中の子どもたちが感じる孤立感を低減し、社会とのつながりを感じられるような機会を創出していく

プロジェクトの意義

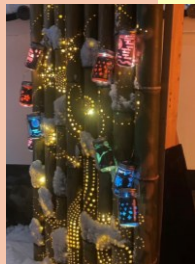
- ①入院児のQOL向上への寄与
- ②多職種連携の経験
- ③教育と医療の橋渡しとなる

昨年実績



学習支援

信大附属病院：1名（オンライン）
：学習教材の郵送による支援
長野日赤病院：1名（対面）
※今年度も4月に長野日赤にて学習支援を実施



イベント開催 ランタンづくり

信大附属病院（院内学級にて）
長野県立こども病院

その他

メタバースを用いた病弱児特別支援学校との交流
東長野病院でのボランティア



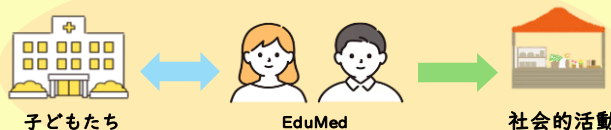
EduMed



活動内容

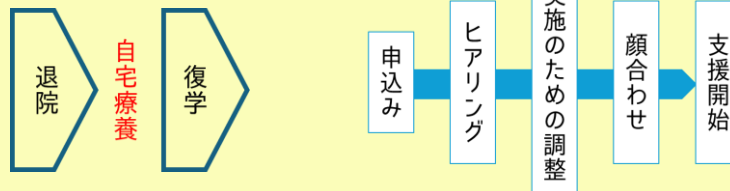
イベント 企画・開催

- ・開催を受け入れていただいた病院ごとに企画を実施
- ・工作や大学生との交流レクを実施する
- ・「社会とのつながり」を重視して子どもが作ったものなどを学祭などの場で販売や展示をする
→ 自分がかかわったものが社会の中でつながる



学習支援

- ・昨年度の活動を継続して対面またはオンラインによって個別に学習支援を実施
- ・支援対象を具体化し、退院後～完全な復学までのお子さんや義務教育ではない高校生など、既存の支援体制では対応の難しい児童生徒を中心とする



活動展開

メンバー（学部生）の広がり

イベント実施の際にボランティアとして募集する。そこでの経験を通して興味を持った学生にはメンバーとして運営にも入ってもらえるようにすることで輪を広げる。

連携の広がり

昨年度は信州大学医学部附属病院、長野赤十字病院、県立子ども病院と連携。今後は北信地域を中心に活動を認知してもらえる病院を増やす。

活動内容の広がり

イベントの企画内容は病院、子どもたち側のニーズに応じて考えていく。大学の授業をリモートで繋ぐことで進路選択に役立てるなどのイベントや、週に1回誰でも参加できるお話しなどの定期的活動を実施する。

その他

定例ミーティング

企画の立案・実施準備や学習支援のための情報共有や研修のために行う予定

進捗と今後の予定

イベント実施に向けたアンケート配布（6月中）
学習支援の広報のためのチラシ配布（6月中）
企画の立案と交渉（7月予定）
企画の実施（病院側との調整がつき次第）

Youth 正副代表

太田 優里奈（臨床心理学コース2年）
山口 泰聖（臨床心理学コース1年）